

Y04a 「星の虹から宇宙をさぐる」プラネタリウム番組の共同制作

中道 晶香, 吉川 智裕, 河北 秀世, 新井 彰, 近藤 莊平, 藤代 尚文 (京都産業大 神山天文台), 前田 雄亮, 本部 勲夫 (京都市青少年科学センター)

京都産業大学神山天文台と京都市青少年科学センターが共同制作したプラネタリウム番組「星の虹から宇宙をさぐる」について、番組制作とその成果を報告する。京都市青少年科学センターでは、プラネタリウム番組の企画、制作をスタッフがを行い、生解説にて上映しているが、最新の天文学の研究成果などの話題を扱うことは難しかった。一方、神山天文台では、地域の理科教育の一端を担うことを目的とした事業を進めており、プラネタリウムという魅力的な教材を利用できることは有効であると考えられる。番組は、2012年1月4日から3月14日まで京都市青少年科学センターにて上映された。

番組は分光天文学をテーマとした。一般の方にはあまりなじみがない話題であるが、研究者と共同で制作する番組としては、光を分析して研究する観測天文学を知ってもらう良い題材になると考えた。科学センターのスタッフが番組の構成、制作、および投影と生解説を行い、神山天文台スタッフは番組内で紹介する天文学の話題の提供、および資料収集と監修を行った。

番組のシナリオは、通常の星空紹介の後で神山天文台を紹介し、神山天文台の研究者自らのナレーションで研究紹介を行うムービーを上映した。ムービーは、「彗星のひみつ」、「銀河のひみつ」、「昔の銀河のひみつ」、「新星のひみつ」、「宇宙のガスのひみつ」の5つを用意し、上演時期や来場者によって解説者が2-3つを選択した。

本講演では、今回の科学センターと大学の番組共同制作について総括し、そのメリットと困難な点について議論する。